

回答

(ヒアリングを行った関係者)

Pia Escudero 氏(カリフォルニア州公認臨床ソーシャルワーカー (Licensed Clinical Social Worker)) : 学生健康・福祉課事務局長

Albert Grazioli 氏 : LAUSD 施設資産開発ディレクター

1 センターの基本情報

A. 設置目的	<p>子どもたちが健やかに成長し、大学進学やキャリア形成できるような、安全で思いやりのある育成環境を支援すること。</p> <p>(沿革)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2010 年に生徒の基本的な健康、メンタルヘルス、およびウェルネスサービスへのアクセスを促進することを目標として事業を開始。・ 2014 年には連邦政府による許認可を受けた非営利のヘルスケアセンターである Asian Pacific Health Care Venture, Inc. (以下、「APHC」と提携し、最もニーズの高いコミュニティで医療(精神医療を含む)及び福祉サービス(住居に関する支援、食料・衣服等の提供等)の提供を開始。
B. 主な組織	<p>LAUSD School Mental Health Services (以下、「LAUSD SMH」と以下の団体とのパートナーシップにより設立、運営されている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ APHC・ 各地域内の医療機関
C. 概要	<p>・ ベルモントウェルネスセンターは、ロサンゼルス学校区内の 17 (19 に増加予定) の学校の敷地内に設置され、主に、LAUSD SMH がメンタルヘルスケアサービス、APHC がヘルスケアサービスを提供しているウェルネスセンターの 1 つ。</p> <p>・ 当初小中学生のメンタルヘルスケア主な対象としていたが、地域ごとのニーズに対応するため、就学前の子ども向けのサービスや、成人向けの教育(メンタルカウンセリングの担い手育成等)等についても、APHC と協力しながら活動範囲を拡大。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、直近まで同感染症の検査とワクチン接種の提供のみを行っていた。現在は従来の(対面式の)メンタルヘルスサービスを再開している。</p>

2 組織・人員構成

A. 組織図	・ 提供できる資料がないとのこと。 ※センターを置く各地域によって、人口構成や文化等が異なり、移民カウンセラー、就学カウンセラー、メンタルヘルスカウンセラー、言語支援などのサービスに対するニーズも異なっており、それらは絶えず変化している。そのため、統一的・標準的な組織図、役職はなく、一例の提供はミスリーディングであるという点を繰り返し強調された。
B. 各役職の職務と責任	

3 センターの概要

A. 配置図	・ 提供できる資料がないとのこと。 ※事業の開始当初は、配置図やフロアプランを作成するところから取り掛かろうと考えていたが、上述のとおり、各地域の状況が異なっていたことから、統一的なものを作成するのが適さないという結論に至った。
B. フロアプラン	

4 運用統計（患者数など）

A. 患者数（内訳）	・ 提供できる資料がないとのこと。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、通常のサービスを提供できていないため。
B. 相談実績	

5 運営経費（財源）

A. 財源	・ 共同利用・革新基金（Joint-use/Innovation） ※事業の立ち上げに際して、学校の共用スペースの設置に対する共同利用・革新基金（Join-use/Innovation）のうち 2,500 万ドルを活用し、センターを設置。 ・ 共同利用開発公債プログラム（The Joint-Use Development Bond Program） ※当該プログラムは、LAUSD が所管する施設を、より地域に利益をもたらす施設として開発および運用するために、政府機関、コミュニティベースの組織、スポーツ組織、または民間団体と提携を行うプログラム。LAUSD は施設を共同利用している団体から資金の提供等を受けている。 ・ 連邦政府の健康保険助成金（Health and Human Services Grants） ※非営利のヘルスケアセンターである APHC は連邦政府から当該助成を受けている。
-------	--

6 その他（事務所独自でヒアリングした内容）

今後の取り組み や主な課題	<p>【アクセス】</p> <ul style="list-style-type: none">・公共交通機関が発達していないロサンゼルスにおいて、各センターへのアクセスのし易さは、サービスを希望する人々にとって重要な点であることから、一か所で全てのサービスを受けることができるよう改善していきたい。 <p>【コミュニティのサポート】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域が抱えている問題として、雇用や食料不足、暴力、薬物等が挙げられるが、それらの問題を根本から改変するためには、コミュニティレベルでの人間のかかわり方のシステムを構築することが重要である。今後は、問題発生時に早期介入及び問題解決に向けたシステムの構築を行うことで、コミュニティの回復力を促進し、地域を持続的に発展させていきたい。 <p>【モバイルユニット】</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍においては、歯科や眼科のサービスを提供するために車両によってサービスを提供する「モバイルユニット」を導入した。今後、同サービスを維持するか要検討。 <p>【教師用の住居不足】</p> <ul style="list-style-type: none">・LA 学校区では、今後数年間で、毎年少なくとも 1,100 人の教師を新たに雇用する必要があるが、連邦政府の住宅価格計算ガイドラインによると、新任教師の家賃を月 1,200 ドル（給与の 3 分の 1）以下にしなければならないとされている。しかし、近年、物件の上昇が著しいため、ガイドライン内の安価な物件が存在しない。
------------------	---